

令和5年度岐阜県温室効果ガス排出削減計画等評価制度検討部会の検討結果について (報告)

令和5年度岐阜県温室効果ガス排出削減計画等評価制度検討部会を開催し、温室効果ガス排出削減計画書及び実績報告書の評価等について検討を行いましたので報告します。

開催日時：令和6年1月17日（水） 午前10時30分～午前11時40分

出席委員：上宮委員、岸田委員、小林委員、杉山委員、野々村委員、溝口委員

場 所：岐阜県庁 3階301会議室・オンライン

【主な検討結果】

1 温室効果ガス排出削減計画書（令和4～6年度）及び実績報告書（令和4年度分）の概要・評価結果・分析

以下のとおり意見した。

- ・ 事業者の主体的・能動的な省エネ対策の効果を把握するため、生産量や電力排出係数の変化による影響を除いた分析方法を検討してはどうか。分野ごとにそうした分析ができれば、より分かりやすい施策を打てるのではないかと。
- ・ 電力使用量は減っているが、電力排出係数の影響で排出量が増えていることもある。排出量だけでなく、原単位や電力使用量で評価することも検討してはどうか。
- ・ 売上の増減やコロナ禍後の回復を理由にすると、経済成長が排出量増加の要因となってしまうため、エネルギー転換や省エネに注目した取組み内容の分析は重要。
- ・ この資料はこれでよいが、次のステップでは、電力排出係数や再エネの活用状況に踏み込んで分析してはどうか。
- ・ 今後、評価対象にスコープ1、2、3の考え方を取り入れてはどうか。
- ・ 送電グリッド構築やコージェネのエネルギー利用など、評価項目以外の独自の取組みが出てきているのは素晴らしい。
- ・ 優良事例の公表はホームページだけではなく、事業者に見てもらえるよう周知方法を工夫してほしい。